



市民のひろば

掲示板

◆秦山ピンポンクラブ

初心者を中心に、卓球で健康づくりをしています。楽しく仲間もできます。ぜひ見学にお越しください。

【日時】毎週月・木・土曜日  
月・木 18時30分～2時間程度  
土 14時～2時間程度

土 14時～2時間程度

【場所】秦山ふれあいセンター  
(あけぼの保育園北側)

【問い合わせ先】(岡本)

☎090・8973・7384

◆菜園クラブ

自分のペースで、畑づくりをしてみませんか？みんなで助け合っって教え合う楽しいクラブです。見学からの方も大歓迎ですので、詳細はお問い合わせください。

【場所】土佐山田町岩積

(山田特別支援学校東側)

【参加費】年間1万円

【代表】時久崇

【問い合わせ先】(西山)

☎080・5013・0722



▲ゆずのキャラクター

◆応募資格

香美市在住・在学・在勤の方

【締切】5月29日(金)必着

【賞品】最優秀賞1名

図書カード5千円分

【応募方法・応募先】

ハガキかメールで、①キャラクター名②名前の意味や理由③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号を明記して応募

〒782-0039

香美市土佐山田町栄町12-2

香美地区地域安全協会

キャラクター名募集係

kambouhan@abelia.ocn.ne.jp

【問い合わせ・応募先】

(南国警察署香美警察庁舎内)

香美地区地域安全協会 担当登

☎52・0110

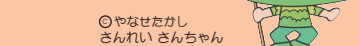
第193回 かみかみクイズ

今月の賞品

全問正解者の中から抽選で、3名様に贈呈!



やました食品のお酒のアイスクリン  
おやじアイス8個入りセット  
※内2セットは(株)やました食品様より提供



問題A、Bの●●にあてはまる答えを書いて応募しよう! 正解は、今月号の誌面のどこかにあります。

※応募は1人1通まで  
※当選者は誌面で発表させていただきます。

ハガキまたはEメールで①クイズの解答②住所③氏名④日中に連絡がとれる電話番号⑤誌面の感想を記入のうえ、応募してください。  
■応募締切 5月29日(金)必着  
■あて先 〒782-8501 (住所記載不要) 香美市広報委員会事務局かみかみクイズ係  
✉ kamikami@city.kami.lg.jp

第191回当選者 福永真衣さん・山中とあさん・田中浅子さん (応募総数75通)  
第192回の解答 A. 一般 B. 25

【応募方法・応募先】

ハガキかメールで、①キャラクター名②名前の意味や理由③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号を明記して応募

〒782-0039

香美市土佐山田町栄町12-2

香美地区地域安全協会

キャラクター名募集係

kambouhan@abelia.ocn.ne.jp

【問い合わせ・応募先】

(南国警察署香美警察庁舎内)

香美地区地域安全協会 担当登

☎52・0110

から須恵器の生活陶器に比重を移し、県内でも大陶器生産地の時期があったようである。植タンガン窯、新改地区の林谷、東谷地区、西谷地区、大谷地区、入野地区、大法寺にも窯跡が発見されている。平安時代まで窯業が継続されたが、以降には絶えた。不思議なことである。

窯を築く、陶土を掘り運搬、松薪の生産、製品搬出などは力仕事、往還に沿って販売もされていたと想像すると、重要な生活手段と伝統技術であったであろう。新改地区には円墳が集中し、副葬品に古銭も出土している。

承平4年(934)12月、紀貫之の国司離任の宴に、八木やすりの名が見える。八木氏は新改が本拠地と言われ、短歌を解する教養人と思われる。八木氏は窯業と農業の豪族であったであろう。安閑な須江に古代短歌の風も吹き、焼き物で活況を呈した時期もあったと想像される。室町幕府に足利義満があつて文化華やかな永徳2年(1382)正月、西谷の観音堂に阿弥陀如来坐像が寄進され、墨書に八木伊豆守康綱の名がある。平安末から室町時代にかけて、八木氏の治める地域であったようである。

なぜ新改地区の窯業が絶えたか、答えは難しいと思われるが、私は陶土の枯渇に原因があるように思える。皆さんはどのようにお考えだろうか。

(香美市文化財保護審議会 岡村)  
(参考:土佐山田町史)

新 第57回 八木氏と新改川

香美探訪記



土佐山田町新改村須江地区は、須恵器と呼ばれる陶器の生産地に由来する名である。本来の字は須恵であろうが、須恵器の搬出舟係留地の意味で須江と転用されたものであろう。古文書によっては、陶とも書いてある。

天平14年(741)、聖武天皇が国分寺・国分尼寺建立の詔を発したことはよく知られるが、土佐国分寺は天平11年には完成していたと言われている。寺の屋根瓦は複弁蓮花文鏡瓦と呼ばれ、軒に蓮花が見えるように、平瓦と丸瓦で葺かれていた。その一部は、新改村のタンガン登窯で生産されて、新改川を舟で送ったようである。

縄文土器は野焼されて約800度以上にすることが難しくもろい。崇峻元年(588)に朝鮮南部から畿内に寺院技術者が帰化し、瓦博士が陶器の登窯で須恵器を製造されたと言われている。戦国武士が濁り酒を飲む平皿は、「かわらけ」とも呼ばれる素焼土器を想像されたい。

まず、新改川粘土と北山の松薪、難波からの陶工が傾斜面に入舟形の窯を築き、窯内千度以上で硬質瓦が焼かれた。その後、限定的な屋根瓦生産

私はアメリカ合衆国出身の留学生、ビジヤイ・ブラッドリー・パハリアです。来日前は、フロリダ国際大学で学士号と修士号を取得しました。私は4年前に、高知工科大学香美キャンパスで10週間のインターンシップを経験し、日本への留学を決意しました。その後、フロリダ州マイアミから高知工科大学大学院へ進学し、現在は博士後期課程でマイクログデバイス技術の研究に取り組んでいます。私は子どもの頃から日本に憧れを抱いてきました。日本のアニメを観たり、地元で日本人シエフから寿司作りを学んだり、葛飾北斎の「富嶽三十六景」を勉強しながら絵も学んできました。これまでに、東京都、京都府、大阪府、福岡県、愛媛県、香川県、沖縄県、静岡県を訪れたことがあります。



▶高知市内の墨絵体験での撮影

高知県は、私にとって新たな人生を始められる場所だと感じています。美しい山々、神秘的な海、そして豊かな大地のすべてが、「この地で暮らしたい!」と思わせてくれます。また、大学での生活や英語を教えることを通じて出会った人々の温かさや心を打たれ、高知で暮らしたいという思いがより一層強くなりました。特に印象に残っている経験は、幼稚園児に英語を教えたり、地域の方々と交流したりできたことです。香美市での暮らしは、私にとって理想的な環境です。のどかな田園風景の中で高度な科学技術を学ぶことができ、自分自身の成長を日々感じています。皆さんが私に多くのお話を聞かせてくださることを、今度私が香美市に貢献したいと考えています。



ビジヤイ・ブラッドリー・パハリア  
アメリカ合衆国